

# 天地悠久

## 100周年から悠久の未来へ



### ● 創立100周年事業を終えて ●

創立100周年実行委員長・同窓会長 杉田明弘  
(昭和45年卒)



創立100周年記念式典は、平成30年10月27日、前日からの雨も止み、本校同窓生大村秀章愛知県知事をはじめ多数のご来賓と関係者の方々をお迎えして、体育館満員の1500余名のご出席の中で盛会かつ厳粛に行われました。

大正7年(1918)に西尾町立高等女学校として創立開校し、さらに昭和23年(1948)に西尾中学校から現在の県立西尾高等学校に改称となり、多くの教育関係者や同窓会会員の皆様のご努力とご理解、そして生徒一人ひとりの西尾高校を愛する熱意をもって今日の100年が迎えられたと思います。

すでに卒業生も3万4千人を数え、多くの同窓生が政治や経済、教育、芸術、スポーツなど様々な分野で活躍

されており、地域の方からも一番の進学校として認められています。

さて、創立100周年事業の大きなテーマ「悠久の未来へ」とコンセプト「モノからヒトへ」を受けて、未来永劫と続く西尾高校の伝統と教育環境を支援するために「公益財団法人県立西尾高等学校同窓会奨学財団」を設立しました。同窓会会員のご寄附をもとに、学業・人物ともに優秀でかつ経済的理由により修学困難な生徒を支援し、また世界での活躍を志そうとする人たちを支援させていただくものであります。

新たに令和時代を迎えて、これからが今までのような経済成長と平和な時代になるとは限りません。令和時代の日本や不安定な世界において、未来を担う若者達のために、同窓会としてできる限りの支援をする責任があると考えます。100周年記念式典においても、悠久の未来に向け、若者へ支援することを約束いたしました。

同窓会会員におかれましては、このことをご理解いただき、これまで以上のご支援とご協力をお願いいたします。

## ● 西高これからの100年へ ●

校長 平井博司  
(昭和53年卒)



西尾高等学校創立100周年記念式典は、昨年の10月27日に盛大に開催することができました。多くの卒業生の皆様にご尽力いただきましたことに感謝申し上げます。第30回卒業生である愛知県知事大村秀章様からは、式典にて心温まる祝福のお言葉を頂戴することができました。また、たくさんの方々から奨学財団や記念事業へのご寄附をいただきましたことに、心よりお礼申し上げます。

準備に関わってきた西高職員は、卒業された諸先輩方の母校を思う愛情の深さに感動いたしました。記念式典で、高等女学校校歌と西尾中学校校歌を立ち上げて歌われた先輩方のお姿は、見ていた生徒の脳裏に焼きつき、西高の歴史の重さを感じさせたことでしょう。生徒及び職員を代表し、感謝申し上げます。

準備に関わってきた西高職員は、卒業された諸先輩方の母校を思う愛情の深さに感動いたしました。記念式典で、高等女学校校歌と西尾中学校校歌を立ち上げて歌われた先輩方のお姿は、見ていた生徒の脳裏に焼きつき、西高の歴史の重さを感じさせたことでしょう。生徒及び職員を代表し、感謝申し上げます。

西尾高校は、学んだ知識や技術を生かせる人やリーダーの養成を目指し、本校の教育活動がどうあるべきかを模索しながら、今後も発展してまいります。今日までの100年から学び、これからの100年を考える機会を与えていただいたことを感謝いたします。この先においても、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

最後に、この度、本校に寄せられました、多くの皆様のご尽力に重ねて感謝申し上げますとともに、本校並びに本校生徒への更なるご支援をお願い申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。



ランニングコースを走る生徒たち

## ● 奨学財団の発足と実施状況 ●

奨学財団委員長 神谷研  
(昭和49年卒)



これまで同窓生の城好彦氏（昭和40年卒）の基金を原資とした「城奨学金」をもとに在校生に修学資金の支給を行ってきました。創立100周年を機に「公益財団法人県立西尾高等学校同窓会奨学財団（平成30年4月1日認定）」がその志を受け継ぎ、経済的理由で修学が困難な生徒に対する「修学奨学金」制度と外国の高校生との交流などのための派遣費用の一部を支給する「海外研修生派遣奨学金」制度を創設しました。

さっそく平成30年度から支援が始まり、各学年2名ずつ計6名の在校生に対して修学奨学金（総額144万円）を、さらに、12月10日から9日間の行程で実施されたアメリカ合衆国ニューヨーク州のイーストウエスト校への訪問団（参加生徒12名）に対して渡航費用の一部（総額100万円）を支援いたしました。

将来にわたる「ヒトづくり」を継続していくためには、「同窓会奨学財団」への同窓会会員の皆様のご支援が不可欠です。奨学財団としては、毎年300万円を目標に寄附をお願いしたいと考えております。公益財団法人の認定により、寄附者が個人（確定申告による寄附金控除）あるいは法人（特別枠の損金算入）でも税制上優遇されます。このことをご理解いただき、これまで以上のご支援・ご協力をお願いいたします。

将来にわたる「ヒトづくり」を継続していくためには、「同窓会奨学財団」への同窓会会員の皆様のご支援が不可欠です。奨学財団としては、毎年300万円を目標に寄附をお願いしたいと考えております。公益財団法人の認定により、寄附者が個人（確定申告による寄附金控除）あるいは法人（特別枠の損金算入）でも税制上優遇されます。このことをご理解いただき、これまで以上のご支援・ご協力をお願いいたします。



アメリカ研修（コロンビア大学にて）



## ● 記念式典報告 ●

記念式典委員長 岡田 裕 明  
(昭和56年卒)



平成30年10月27日(土)に、西尾高校創立100周年記念式典が、愛知県知事で第30回卒業生である大村秀章様を始めとする多くのご来賓の皆様をお迎えし、在校生や西高に関わっていた先生方、同窓会やPTA役員の皆さんを含め総勢1,500余名の参加の

もと、本校体育館において盛大に開催されました。

心配されたお天気も記念式典の開催を祝うかのように晴れ上がり、式典終了後に中庭で実施した在校生への昼食に7台11品目のキッチンカーによるケータリングも無事に行うことができ、大変喜ばれました。

2年生の祖父江さんと生田君の司会により厳かに始まった式典は、杉田実行委員長の挨拶から、100周年記念事業の目録贈呈と進み、今回の目玉事業・奨学財団の紹介、2年生の太田君による生徒誓いの言葉を経て、最後は平井校長先生の謝辞で締めくくられました。中でも校歌紹介の場面では西尾高等女学校と旧制西尾中学校の大先輩が立ち上がり、校歌を斉唱されたのは在校生も含めとても感動しました。

多くの皆様のご協力の賜物と心より感謝しております。ありがとうございました。



大村秀章愛知県知事のご祝辞



田中ふみ枝さんによる「茨木のり子詩の朗読」

## ● 寄附金収支報告 ●

財務委員長 辻 村 和 敏  
(昭和49年卒)



創立100周年事業を実施するにあたり、5,000万円を目標にしましたところ、多くの同窓会会員やPTA・学校関係の皆様から、総額62,515,314円の寄附金が集まりました。目標を大きく上回るご寄附をいただきましたことに感謝申し上げます。内訳は、「西高の歴史へ」に24,788,297円、「西高の今へ」に、25,000,000円、「西高の未来へ」に12,727,017円です。

皆様方のご芳志をもとに、100周年記念誌の刊行、ランニングコースの設置と緑地帯の整備、奨学財団による支援(前ページの神谷委員長報告参照)、記念式典などに有効に活用させていただきました。詳細は別添の会計報告をご覧ください。

反省としては、①「歴史へ」「今へ」「未来へ」のどれに振り込んでいいか分かりづかった。②電子マネーによる募金も考えていく必要がある。③趣意書が存在が周知されていなかった。④スマホ用のHPが必要である。などがあがりました。次の周年事業の参考にさせていただければ幸いです。



100周年記念誌『天地悠久』



2階玄関正面に設置された「悠久の祈り」像と制作者の山本眞輔氏(昭和32年卒)

## 会員からのたより

福岡県八女市 江淵(田中)晴美(S54年卒)

高校卒業から40年、福岡県に嫁いで32年が経ち、既に50代後半になりました。一昨年会社をリタイアし、やりたいことを自由に行っている毎日です。2018年の同窓会に初めて参加して、高校時代の懐かしい面々に会うことができ、あの時が戻ったように感じました。西高時代の思い出は、一生忘れられないとても青春を感じるものです。

西尾市吉良町 平井克明(S57年卒)

教職に就き、中学校でお世話になっています。毎年、たくさんの生徒たちが西尾高校に憧れと夢と強い志をもって入学していきます。後輩となるべく人材を育て、世代を超えた「心の故郷」とつながる仕事に携わる幸せを感じます。ご縁に感謝です。

西尾市一色町 本郷(富田)康志(S48年卒)

4年前に高校教諭を退職した後、寿司学校に通い、出張寿司職人になりました。今のところ友人知人宅に招かれての出張寿司、吉良町の古民家での金曜寿司ランチ、一色さかな村での土日巻き寿司販売が主な営業内容です。西高OBの方には様々な場所でごひいきいただいております。

西尾市錦城町 堀川 晃(S55年卒)

現在、税理士事務所を経営しています。ヤンチャな自分を我慢強く過ごさせてくれた母校のおかげと感謝の気持ちで一杯です。又、当時の同級生とは今でも集まり賑やかに付き合っています。かけがえのない友人と出会えた西尾高校、これからも素晴らしい卒業生を輩出することを願っています。

西尾市吉良町 水村民之(S37年卒)

いつ高校を卒業した?物置の卒業アルバムで確認した。なんと昭和37年1962年、今の歳は75歳。古来稀と言われる古希はとっくに過ぎた。自分も生きがいを求めて、旧領主の『吉良家日記』を退職後7年間、翻刻したご縁で現代文訳を進めている。斬首時の吉良さんの思いは?

西尾市田貫町 石川(石川)三栄子(H3年卒)

現在、特別養護老人ホームで介護福祉士として働いています。3人の男の子の子育てと、母の介護の時期が重なってしまい、時間に追われる毎日。そんな中でも、自分が楽しむことを忘れずに、家族や職場など周りの助け

を借りながら充実した日々を送っています。

西尾市緑町 山口 巖(S38年卒)

生涯現役を目指して早期退職したのが57歳半の時。60歳から、仕事の成果が目で確認できる庭師になって早15年。人間、緑と土と陽光の下で生きることの喜びを感じつつ、仕事をくれるお客様と支えてくれる妻に感謝の毎日。更に、内孫5人に囲まれて、貧しくとも幸せ。

西尾市花蔵寺町 伊藤(伊藤)裕子(S49年卒)

高校時代は体操部に所属し、卒業後は創作ダンスの道に進みました。教員を退職後、西尾市サタデーブランチダンス教室やフラワー・ダンスセラピー教室等に取り組んでいます。教育・芸術・福祉の分野で、幼児から高齢者まで多くの皆様と交流し、心豊かな時を楽しんでいます。

京都市上京区 曾根幸枝(H8年卒)

受験当時に話題だった「そうだ京都、行こう。」京都という街にひかれ、そのBGMに流されるように京都の大学へ進んだことも、今思うと何かの縁。その後ロンドン、東京と仕事で転々とし、今再び愛してやまない京都に。たくさんの人たちから愛され続ける、職人手づくりの帆布かばん店で、毎日のんびり機嫌よく働いています。

安城市小川町 鶴田賀宣(S55年卒)

大学卒業後は保健体育教諭として、また野球部長・監督として17年間母校にて勤務させていただき、現在は知立高校に勤務しながら高野連副理事長も務めさせていただいております。昨年12月には愛知県高校選抜チームの監督として、豪州遠征も経験し、生涯高校野球の幸せな毎日です。

西尾市吉良町 糟谷 修(S58年卒)

大学卒業後に国税局勤務を経験し、その後二十何年前から細々と税理士事務所を運営しました。同時に十何年前から非常勤講師として大学に勤め、この4月からは今更ながらの大学院生として、今は三足の草鞋を履いています。それなりに忙しい日々を過ごさせてもらっています。

西尾市上町 原田直樹(H7年卒)

在学中、友人とのバンド活動を通じて伝えることの大切さを学びました。大学卒業後、不動産会社での仕事を始め、地域のための様々な活動の中で西高創立100周年の昨年には平成6年度卒業生の同窓会を起ち上げました。西高時代の懐かしい思い出は今も私の大きな原動力となっています。



令和元年度 西高同窓会総会のご案内



昨年の総会に出席された恩師、役員と幹事学年の皆さん

- 1 日 時 **8月10日(土) 午後3時より**
- 2 会 場 **西尾コンベンションホール**  
(名鉄西尾駅西側に隣接しています)
- 3 幹事学年 **高校32回生 (昭和55年卒)**
- 4 次 第 **15:00 総 会**  
**16:00 記念講演**  
宮崎医院 院長 宮崎 仁氏  
(高校32回生)  
**16:40 記念写真**  
**17:00 懇親会 (会費10,000円)**  
※奨学財団寄附3,000円を含む

※創立100周年を記念して設立した「公益財団法人県立西尾高等学校同窓会奨学財団」を維持していくには、永続的に広く皆様からご寄附をいただく必要があります。同窓会役員会、奨学財団理事会・評議員会で話し合い、今年度から8月の総会に出席される方にご協力をお願いするということになりました。趣旨をご理解いただき、お一人様3,000円のご寄附のご協力をどうかよろしく願いいたします。

- ・幹事学年以外で参加希望の方は、7月26日までに同窓会事務局(新家正之教諭)へ  
TEL0563-57-2270 FAX0563-54-6963
- ・今年度から高女卒、旧制中学卒の方も、懇親会費を頂戴いたします。

山下英一先生のお話を聞く会 開催



平成31年3月10日(日)、西尾駅前の西尾コンベンションホールに第23回卒業生有志(世話人:木村昌保)が恩師の山下英一先生をお招きして、「西尾高校校歌にまつ

つわる話etc.」と題するお話を聞く会を開催しました。尾崎士郎への校歌の作詞依頼の経緯や、作曲家下總皖一の出身地の埼玉県大和町への2度にわたる踏査やその結果明らかになったことなど、93歳になられても正確な記憶と事細かなお話に、聞いていた私たちは感心しきり

でした。昭和27年2月1日の校歌制定の日の記念式典で、空色のローブを着た東京音楽学校の学生(先生は「コバルトガール」と呼んでおられた)が校歌を歌った話などは目に浮かぶようでした。最後は、英語で「仰げば尊し」を、さらに西高逍遥歌「いつも夢見て」を歌われて、90名の参加者はいつもの「山下節」を堪能したのでした。



# 〔活躍同窓生〕

## 小山敏幸さん (34回生)



名古屋大学大学院 工学研究科教授  
昭和57年卒

今回は、名古屋大学大学院教授の  
小山敏幸さんにお話を伺いまし  
た。先生は、計算機シミュレーシ  
ョンによる材料開発研究の第一人者  
で、「材料設計計算工学」、「フェー

ズフィールド法入門」など、多くの著書を執筆されています。

### ★小山先生の高校時代の思い出をお聞かせください。

高校時代は、部活でクラシックギター部に所属していま  
した。西高祭で演奏した際、体育館いっぱい響く音色は、い  
までも印象深く覚えています。西高のHPをみると、現在も  
ギター部は健在のようで、やはり嬉しいですね。

### ★現在の研究テーマを選ばれた動機をお聞かせください。

私の研究は、コンピュータによる材料開発で（詳細につ  
まましては私の研究室のHPをご参照ください）、フェー

ズフィールド法という手法が基本になります。たまたま世界的  
にこの手法が発展していくまさにその時に、この手法にめぐ  
り合ったことが、現在のテーマに繋がっています。なお黎明  
期、この手法はほとんど注目されていませんでした。単にこ  
の計算が面白いからという理由で始めたことが、時代ととも  
に大河のような分野になってしまったというのが実状です。  
運もあるように思いますが、やはり自分が面白いと思ったこ  
とに、のめり込むことが大切だと思います。

### ★西高生へのメッセージをお願いします。

「選択で迷ったら、困難な方を選ぶ」この簡単な判断基準  
が意外と知られていません。例えば二択で、「簡単な仕事」と  
"困難な仕事"があって、自由に選べるとしましょう。単に労  
力を考えれば、簡単な仕事の方が楽ですね。しかし社会で  
は成果に対して評価が下されます。簡単な仕事はできて当  
然、できなければその人の評価は下がります。困難な仕事  
は、完遂できたら評価は急上昇、完遂できなくても困難な工  
事に挑戦したのだからと、幾分評価が上がる場合が多い。つ  
まり簡単な仕事を選ぶと、どれだけ頑張ってもその人の評価  
は現状維持か下がるだけ、一方、困難な仕事を選ぶと、評価  
は今以上に上がるばかり。"困難な方を選ぶ"は、人生訓では  
なく、単純な論理です（知っていて損はないかな）。



## 部活動報告 [平成30年度]

### ◆全国大会出場◆

全国高等学校総合体育大会（三重県）

【登山部】 女子 出場

### ◆東海大会以上出場◆

その他の大会

#### 【バドミントン部】

中部日本バドミントン選手権大会  
少年男子の部シングルス、ダブルス出場  
吉田翔太・吉田涼太組

### ◆県大会成績◆（入賞）

愛知県高等学校総合体育大会

【登山部】 女子の部 優勝  
男子の部 4位

#### 【バドミントン部】

男子団体 ベスト 8  
男子シングルス ベスト 16 吉田 翔太  
ベスト 16 吉田 涼太

#### 【サッカー部】

ベスト 16

愛知県高等学校新人体育大会

【登山部】 女子の部 優勝  
男子の部 5位

#### 【バドミントン部】

男子団体 ベスト 8  
男子シングルス ベスト 16 吉田 翔太

男子ダブルス ベスト32 吉田 涼太  
ベスト16

【水泳部】 女子200m個人メドレー 7位 中川 結衣  
吉田翔太・吉田涼太組

### その他の大会

#### 【サッカー部】

全国高校サッカー選手権大会・愛知県大会  
準々決勝進出

#### 【バドミントン部】

愛知県高等学校学年別バドミントン大会  
2年男子ダブルス ベスト 8  
吉田翔太・吉田涼太組

#### 【野球部】

愛知県高等学校優勝野球大会 ベスト 16  
第100回全国高等学校野球選手権東愛知大会  
東愛知ベスト 16

### ◆その他の顕著な成績◆

#### 【ダンス部】

東海ダンスドリル秋季競技大会  
高等学校の部 ヒップホップ部門  
女子ラージ編成 1位

※愛知県高等学校総合体育大会（県大会出場）

#### 【陸上部】 【体操部】 【水泳部】 【剣道部】

#### 【バドミントン部】 【卓球部】 【ソフトテニス部】

※愛知県高等学校新人体育大会（県大会出場）

#### 【体操部】 【水泳部】 【剣道部】 【バドミントン部】

#### 【ソフトテニス部】

※文化部の各大会（県大会出場）

#### 【演劇部】 【文芸部】 【華道部】 【写真部】

# 平成31年度入試概況

進路指導主事 加古邦博

## 平成31年度入試を振り返って

平成31年度大学入試センター試験は、1月19日(土)、20(日)両日に実施されました。本校は347名が、愛知教育大学と愛教大附属高校の2会場で受験しました。全国の平均点は文系が570点(前年差+18点)、理系が572点(前年差+12点)で、文理ともに前年よりも高い平均点となりました。科目別では、国語が前年より17点高くなり、全体の動向に大きな影響を与えました(データは河合塾発表による)。

学部系統別の志望動向をみると、緩やかな「文高理低」傾向が続いており、文系では「法・政治」分野が、理系においては「情報」分野への志望が際だって高くなっています。

前年度の入学定員のさらなる厳格化に伴う私立大入試

の難化から、安全・地元志向はますます強まり、難関校受験を避け、いわゆる「安全校」の併願受験を以前より増やしている生徒が多くみられました。結果、県内私大への出願が前年よりも大幅に増加したのが特徴的でした。

そうした状況の中でも、着実に力を蓄え、果敢に挑戦をすることで、東京大学に現役合格を果たした生徒が2年連続で誕生しました。また、名古屋大学28名をはじめ、北海道大学、東北大学、東京工業大学、大阪大学など全国の難関国立大学に合格者がでるなど、生徒諸君はよく健闘したと思います。

第一志望を譲らず、来年再挑戦する生徒も多くいます。いわゆる浪人生活はつらいものですが、きっと夢を叶えてくれることと期待しています。

## ★★★★★★ 30・31年度大学別合格者数 ★★★★★★★

国公立大学			
大学名	31年度		30年度
	新卒	旧卒	
北海道	1		
室蘭工業			1
弘前	1		
岩手	1		1
東北		1	1
秋田			1
茨城	1		
千葉	4	1	2
東京	1		3
東京学芸			1
東京工業	1		1
東京海洋	1		1
東京農工	1		1
横浜国立			3
富山	5		4
金沢	9		6
福井	2	1	13
山梨		1	1
信州	4		3
静岡	12	2	20
愛知教育	16		19
名古屋	23	5	30
名古屋工業	7	2	20
岐阜	11	1	31
三重	7	1	5
滋賀	3	1	1
京都			1
大阪	1		1
神戸			2
兵庫教育			1
奈良女子	3		2
和歌山			1
鳥取	2		

岡山	1		1
広島	1	1	5
山口	1		1
香川	1	1	
徳島			1
高知			2
九州			2
大分			1
宮崎	1		1
琉球			1
<b>国立大学合計</b>	<b>122</b>	<b>18</b>	<b>192</b>
秋田県立			1
高崎経済	1		4
首都大学東京		1	
横浜市立	1		1
富山県立	2		2
福井県立	2		
敦賀市立看護	1		
長野			2
岐阜薬科	1		
静岡県立			4
静岡文化芸術	3	1	2
愛知県立	8		6
愛知県立芸術		1	1
名古屋市立	3		8
三重県立看護			1
滋賀県立	1		1
福知山公立			1
大阪市立	1		
大阪府立		1	1
兵庫県立	1		3
岡山県立	1		
尾道市立			1
広島市立			1
高知工科			1
<b>公立大学合計</b>	<b>26</b>	<b>4</b>	<b>41</b>
<b>国公立大学合計</b>	<b>148</b>	<b>22</b>	<b>233</b>

私立大学			
大学名	31年度		30年度
	新卒	旧卒	
青山学院	4		1
慶應義塾	1		1
中央		1	7
東京理科	3	1	16
法政		1	4
明治	1	3	11
立教			1
早稲田	1		1
愛知	149	10	133
愛知学院	45	1	25
愛知医科	6		2
愛知工業	71	11	61
愛知淑徳	25		55
金城学院	34		29
椋山学園	60		66
中京	37		67
中部	24		30
豊田工業	3		13
藤田医科	16		50
南山	85	10	74
名城	128	36	136
同志社	17	10	31
立命館	14	4	44
関西	2	2	8
関西学院	1	2	2
その他の私立大学	145	38	212
<b>私立大学合計</b>	<b>872</b>	<b>130</b>	<b>1080</b>



## 「名鉄西尾・蒲郡線体感ウォーク」

昨年度まで12月に実施しておりました名鉄西尾・蒲郡線体感ウォークを今年度から下記のとおり10月に開催します。今後ともご支援よろしくお願ひします。

- 1 日時 令和元年10月25日(金) 8:30~16:30
- 2 場所 名鉄こどもの国駅から西尾市役所芝生広場
- 3 参加者 1・2年生約720名、職員約40名、保護者を中心とした支援ボランティア約70名

## お知らせ

### 「知性と感性を磨く文化講演会」

- 1 講師及び演題 作家 鈴木光司氏  
(著書「リング」「らせん」など)  
次世代を担う若者たちへ  
～よりよく生きるための勇気と指針～
- 2 日時 令和元年11月11日(月) 14:00~
- 3 場所 西尾高校体育館

本校卒業生で参加を希望される場合は、8月31日までに必要事項(氏名、電話番号、卒業年度)を記入の上、往復はがきまたはファックスにて下記までご連絡ください。ただし、会場の都合上、同窓生の定員50名になり次第締め切りますのでご容赦ください。

連絡先 同窓会事務局 原田勝彦  
〒445-0803 西尾市桜町奥新田2-2  
FAX 0563-54-6963

## 同窓会報送付中止とHP移行のお知らせ

これまで毎年7月下旬、同窓会員全員にお届けしていましたが、今年度をもちまして送付中止とさせていただきます。

送付中止の主な理由は財源不足です。会報の郵送料と印刷代で毎年約250万円の費用が必要ですが、現在この費用を同窓会の維持会費から支出していますが、しかし、この財源がまもなく枯渇してまいります。この送付中止の件につきまして昨年度の同窓会理事・幹事会で慎重審議し、同窓会総会において承認されました。大変恐縮ですが、皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、同窓会報は送付致しませんが毎年作成し、7月20日に同窓会ホームページに掲載します。また、日頃の同窓会活動の様子は、随時ホームページに掲載致しますので、ぜひご覧ください。

西尾高校同窓会ホームページアドレス

<http://nishio-h-dousoukai.jp/>

## 「ハルコン」のご報告とご案内

3月21日(祝)に西尾市文化会館で開催しました。今回は、西高創立100周年とハルコン第20回を記念して、「anniversary」をテーマにした曲や劇を披露しました。恒例のダンス部・演劇部との共演や観客のみなさんに参加していただいたパフォーマンスが好評でした。なお、次回は令和2年3月20日(祝)14時から同会場で開催します。同窓生の皆様のお越しをお待ちしています。



### 同窓会専用ホームページ

同窓会からののお知らせや会員間の情報交換の充実に、平成28年度から同窓会専用のホームページを開設しています。学年や部活動同窓会の情報提供、住所変更等の事務局への連絡にも活用できます。是非、ご覧ください。

<http://nishio-h-dousoukai.jp/>

## 編集後記

新しい元号「令和」の最初の同窓会報をお届けします。上記のお知らせの通り、本号が郵送でお届けする最後になります。次号からは同窓会ホームページのみの公開に移行することになります。アナログ派としては寂しいものがあります。ICT(情報通信技術)が社会の主要な技術となってきた平成時代から新しい時代に移る時のタイムリーな変化かなと思うことにしました。

【会報編集委員会委員一同】

### 西高同窓会報「天地悠久」第30号

発行日 令和元年7月20日  
発行 西尾高校同窓会報編集委員会  
〒445-0803 西尾市桜町奥新田2-2  
TEL (0563) 57-2270  
発行人 同窓会長 杉田明弘  
印刷所 資三州印刷